

## ダンプ支部第37回定期大会のお知らせ

### 年間最大の学習・交流の機会

ダンプ支部は十一月十二日(日)、佐野市「あくとプラザ小ホール」で第三十七回定期大会を開きます。

大会は一年に一回、すべての組合員が参加できる重要な機会です。今年の大会では、長年の課題である過積載問題について学習し特別決議を予定しています。ぜひご出席ください。

#### ダンプ支部の組合員が対象

大会は、みんなの意見を踏まえて方針を決定する年に一回の最も重要な集まりです。日頃組合と関わりの薄い組合員にとって、組合活動を知っていただく絶好の機会でもあります。

#### 過積載問題 改革の気運

今年国会で過積載問題が取り上げられました。砕石業界は積荷規制を段階的に進めています。担い手育成のためにも、いまこそ業界を変えることが求められています。

#### 「必ず出欠の連絡を」

出欠の連絡を十一月六日までに事務所にしてください。今年も昼食代(千円)を用意します。

大会で役員を選出します。自薦、他薦問わず立候補を受け付けます。委員長一名・書記長一名・書記次長・副委員長、執行委員若干名

#### 「運動方針案の特徴」

#### 単価(過積載)

東京オリピックに向けて、今後仕事増が見込まれています。しかしダンプの担い手不足は深刻です。若者が就労できる業界にすることは最重要課題です。

砕石組合各社は一〇月から、生コン向け骨材トン「百円以上」の値上げを要請しています。今大会ではこのよう

な状況も踏まえ、単価改善、過積載改善にむけ国会、県議会での問題追及を提起します。

春国土交通省(署名)、夏栃木県、県警(ダンプキヤラバン)、秋警察庁等への要請を基本に現場の実態を訴え、改善を求めます。

背後責任追及 過積載の背後責任追及を検挙現場から求める取り組みを進めます。

荷受業界対策 首都圏の生コン業界など、荷受業界にたいする要請、対策に取り組みます。

労働保険本格的推進 組合員の高齢化にともない労災事故が増えています。全組合員に労災加入をすすめます。一人親方として働く建設職人が増えていきます。労災加入を就労条件とする工事現場も増

えています。建設労災保険の取り組みも広がります。代車から運転手へと、ダンプ業界の就労形態が変化しています。事業所単位で運転手の加入する労働保険(労災・雇用)の加入拡大を強め、今年度中に事務組合設立をめざします。行政指導が厳しくなっている社会保険加入も援助します。

組合員拡大 七〇〇人の支部にすることを目標にします。(二〇月現在六七〇人)組合員との対話を重視し、対象者の掘り起こしのため、随時組合員宅や事業所への訪問活動を行います。

ダンプ以外のトラック、建設職人など加入対象者を広げます。

労働・生活相談 仕事に関係したトラブルだけでなく、私生活における深刻な相談も増えています。県内の労働弁護団と連携し様々な問題の相談に対応します。

また、退職後の生活相談も重要な活動になってきています。

産業廃棄物収集運搬許可申請相談にも取り組みます。

自動車・生命保険推進

損保ジャパン日本興亜、関東自動車共済、全労済を中心とした自動車保険契約拡大をさらに広げます。組合員とその家族が使用する乗用車の保険加入を重視して呼びかけます。

近年多発している自然災害に備えて自然災害共済の取り組みも強めます。

また組合員の医療費増を踏まえて医療保険の取り組みを強めます。

二月から確定申告相談会を開催します。

マイナンバー制度導入によって税務調査の拡大が予想されています。特に消費税の調査が重点になっています。

あらためて自主計算書に基づき自主申告の取り組みを強めます。

#### 組合費前納減額

安定した組合財政の確立、組合員の負担軽減のため、今年度も組合費前納減額を前年度と同じ基準で実施します。

【減額内容】

一年分前納者は組合費一か月分を減額

半年分前納者は組合費二千円を減額

本年一〇月から来年三月までに納める二〇一八年一月分以降の組合費のみを対象とする。

昨年大会の様子



昨年大会の様子